

いわきブランド輸出拡大協議会

複数品目

基本情報

対象国	米国・フランス・台湾	輸出額	343万円/年	加盟者数	4社
主な販売先	外食・小売	活動地域	福島県	品目数	複数
希望スキーム	間接輸出	備考	-		

福島県産食品の輸出拡大を目指し欧米・アジアにてバイヤーとの対面によるリレーション強化

展示会や試食イベントを通じて、日本産の高品質な食品を紹介し、消費者との信頼関係を築く。SDGsに配慮した商品コンセプトで、日本産食品のブランド価値向上と持続可能なビジネスモデルの確立にも寄与する。

団体概要

所在地	福島県いわき市
設立年	2024年
事業内容	海外販路に関する調査・研究、海外販路開拓拡大に向けた自治体・その他関係機関との協議・連携・商談会などの運営
認証取得	-
生産規模	-



取組の経緯 / 概要

- SDGs志向の商品を扱う当会員企業は、協議会設立前から米国市場において、東北フェアや福島フェアなどのイベントに積極的に加わり、商談会や販促活動に参加して現地での認知度向上を図ってきた。
- 新型コロナウイルスの影響で一時的に海外での活動が難しくなるが、2023年には再開し日本食スーパーにて福島フェアが開催され、会員企業の商品が採用される。同年、パートナー企業の一つである輸入商社の担当者が福島を訪れ、協議会の会員企業全社と商談を行い関係強化を図る。また、米国の複数店舗で東北フェアが開催され、この際にも会員企業の商品が採用され米国への輸出を実施する。

取組の成果

- 輸出額：343万円（2024年実績）
- 商談数（オンライン・対面）：16件

取組のポイント

継続的な輸出促進の取組みにより、戦略的に主要パートナーとの関係強化を図りながら更なる輸出拡大を目指す

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題

1

中小規模の事業者が個別に輸出を行うことは難易度が高い

TASK

課題

2

コロナ禍で輸出・販促活動の取組みが停滞

TASK

課題

3

商品のPRが不十分

輸出成功のポイント

複数事業者で輸出の取組みを共同で実施

協議会内複数の事業者が共同で輸出にかかる手続き及びPRなどの取組みを行い、販売機会の創出を図る

バイヤー来日時にリレーションを再構築

協議会で関係諸機関と連携し、主要パートナー企業との関係強化を目的に対面での商談を実施

現地にて対面でのプロモーション

展示会や現地小売店のイベントに参加し、マネキン・動画・カタログを活用し積極的に商品をアピール

サプライチェーン別取組

現地市場で受け入れられる商品の開発

- ・ 輸出国の市場ニーズやトレンドを反映し、SDGsへの取組み・グルテンフリー・ヴィーガン等を意識した商品開発を推進

パートナー企業との継続した取組み

- ・ 主要パートナーである商社や現地小売店と連携し、イベントを継続的に開催することで消費者から信頼を得て売上も増加。輸出拡大に繋がる

各企業が強みを持つ国で展示会に参加

- ・ 協議会の会員企業がそれぞれ得意とする国の展示会・販売会に出展・参加し、協議会会員企業の販路拡大に貢献

商品選定・開発

販売

今後の輸出拡大に向けて

コロナ禍による行動制限が終了したことから、従来から関係のあったパートナー企業と連携し、現地での直接的な販促活動を再開した。加えて、輸出先国のニーズを踏まえた商品開発により顧客を獲得し、一時的ではなく継続的な輸出を目指す。今後も輸出に関心のある事業者や関係者の参画を促し、この取組みを継続することで、協議会の拡大と輸出額の増加につなげたい。